

健 心

誌字：山田無涯 書

平成18年11月11日発行

発行所

高岡市石薬6-1 嵐谷建設館内

高岡市柔道連盟

TEL 23-4658

FAX 28-2755

編集発行

広報部



第20回 春季錬成柔道大会幼児から6年生まで各学年、前列優勝者 後列次勝者



故 福田宗志会長

無 題

理事長 中川 義博

菊薫るさわやかな季節となつてまいりましたが、役員・会員の皆さまには、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。
平素より当連盟の運営と普及活動に多大なるご協力をいただき誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

さて、ご案内のとおり、平成十八年度から福田宗志新会長のもと、新体制にて活動を開始したのも七月十四日、会長が急逝されるという誰も予想だにできなかった突然の不幸に見舞われました。あれほどまでに柔道を愛し続けてこられた福田先生を喪つてしまった事は、当連盟と県柔道連盟のみならず、日本の柔道界にとつても計り知れない大きな損失と言わざるを得ません。これまで物心両面にわたり当連盟を支えていただいたことや、ご生前折りに触れご教示いただいた様々なお言葉を決して忘れる事のないよう、残された私たちが末永く語り継いでゆかなければならないものと思っております。改めて心からご冥福をお祈り申し上げます。

ただ、今年には当連盟にとつて決して悲しい出来事ばかりではありません。県民体育大会では一般の部で十三連覇という偉業を成しとげ、同じく児童の部でも昨年に続きAゾーン・Bゾーンでダブル優勝を果たすことができました。これは、市内スポーツ少年団の指導者の皆さんや選手の間が、同じ目的意識をもって日頃の鍛錬に励んでこられた結果のあらわれだと確信しています。そして、今後決してこの成績におごる事なく、来年もまたこの喜びを分かち合えるよう力を合わせて励みたいと思います。

また、特筆すべきは、福田先生が立ち上げられた『さくら柔道塾』から長内香月さんが第三回全国小学生学年別柔道大会で優勝したことです。彼女は決して大きい体ではありませんが、技と精神力が他の選手を圧した結果だと思います。本当に嬉しい優勝でした。

さらに、芳野中学の佐野賢世子さんが全国中学大会（五七級級）で一年生ながら第三位の成績をおさめました。これは何よりも日頃からの本人の頑張りや熱心な練習がもたらした結果であり、本当にすばらしい事だと思います。来年はさらに上を目指して精進して欲しいと思います。

私も今年度から理事長の重責を担うわけですが、微力ながら当連盟の発展に努めてまいる所存でございます。今後とも皆様のご協力とご理解をいただきますようお願い申し上げます。

全国大会 奮戦記

第26回全国少年柔道大会 戸出柔道スポーツ少年団初出場

戸出柔道スポーツ少年団監督 関 岡 邦 夫

今年3月12日富山県大会にて、決勝戦にて高岡西条に勝利勝ち初出場を決めた。近年の子供達は大きく育っていますが、我がチームは女子を2名含めた小柄なチームだと言っても過言ではありません。

出発前にある先生から激励のお言葉を頂いた。『全国は甘くないから心してかかれ！』そんな事は私も身を持って感じていましたが、何とか一つでも上へ行けたらと思って望んだ。

5月5日試合当日、早朝、私達は宿泊先から少し速めに出発したつもりだったが、講道館内の練習場はもう満員状態！スペースを見つければ打ち込み、投げ込みを行い入場行進まで短い時間を有意義に使ったつもりでした。振り返れば、もう少し速めに子供達を起こし講道館に入ればよかったのかも？

入場行進は胸を張って堂々と行っていた。『富山県代表戸出柔道スポーツ少年団』と放送が掛かったときは感無量で、自分試合に出るときより嬉しく感じた。

試合は第4試合場4試合目！時間が有るのか、無いか！ははっきりしない順番だったため、試合会場に残り子供達には試合を見学させていた。相手は秋田県代表御野柔道スポーツ少年団。子供達には少々緊張はしていたと思うが『自分の組み手になって、先に自分の得意技を仕掛け、備いの無いように戦ってきなさい。』と励まし、勝負に挑んだ。

結果は1-2と惜敗し、全国の壁の厚さをまざまざと見せられました。優勝は宮崎県代表で、その子達は我がチームと引けを取らないくらい小さいチームでしたが、しっかりと鍛え上げられ、技のスピード、試合の駆け引き、そして大きな声が出ていて素晴らしいチームだと感動してきました。県大会を勝ち抜く事も大変ですが、全国大会で是非上位入賞したいと思っただ。

最後に全国大会出場にあたり、富山県柔道連盟会長、石黒 光祐先生、高岡市柔道連盟の皆様を始め諸先生方々の暖かい激励に感謝し今後も努力し頑張って行きたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひします。



第26回全国少年柔道大会出場の
戸出柔道スポーツ少年団



塚本 麻友

私たち高級中学校柔道部は、学年に関係なくみんなで仲良くやってきました。3年生が来たせなかった団体優勝や県選出場など、目標を持って後輩には頑張ってほしいです。期待しています。頑張れ、高級中!

* 高級中学校 *

学校紹介

キャプテンから
ひと言

市中体連柔道競技主任として
富山中学校 関 澤 洋 好

市内の柔道部員は、年商を過して強化練習会や昇格審査会の折りに、市柔道連盟の諸先輩方からご指導をいただき、技術の向上だけでなく心身の鍛錬に努めています。そのおかげもあり、今年度は若野中学校女子が、県選手権大会で団体優勝を成し遂げ、見事、全国大会出場を果たしました。また、個人戦でも男子1名、女子2名が全国大会に出場するところになりました。このような素晴らしい成績を収めることができたのも、時には厳しく、時には温かくご指導いただいた市柔道連盟の諸先輩方のおかげと深く感謝しております。今後とも、何卒、よろしくお願ひいたします。



南 理 絵

私が柔道を始めた2年半、先輩、後輩、先生方、様々な方に支えてもらいました。先輩から教えてもらった技を後輩に伝え、その技を一緒に練習した日々がとても楽しかったです。練習に集中して楽しくてください。

* 南星中学校 *



浜口 雄 大

僕たちは常に自らの目標を持ってきました。練習にはいつも先生や仲間がいました。相手がいるからこそできる柔道です。柔道は個人競技のようでそうではありません。仲間を大切に、目標を勝ち取ってください。

* 高岡西部中学校 *



芳野 中学校

松下 祥

柔道を通して、たくさんの人と出会い、たくさんの思い出ができました。つらい練習を乗り越え、心も体も強くなったと思います。3年生は一人でしたが、今まで一緒に練習できたことに感謝しています。頑張ってください。



志貴野 中学校

小竹 祐太郎

今年、柔道経験者を含む7名の1年生が入部し、部にも活気があふれてきました。僕たちの代には果たせなかった団体戦での県選出場をぜひ実現してほしいと思います。そのためには厳しい練習が必要です。自分に負けないで努力を重ねていってください。



五位 中学校

小橋 尚輝

僕たち3年生が果たせなかった団体戦での県選出場を、1・2年生全員が力を合わせてぜひ実現してほしいです。でもそれだけではなく、一人一人が自分の目標を持ち、それを達成するために日々の努力を積み重ねていってください。



伏木 中学校

編田 大樹

僕たち柔道部は、全学年を合わせても10人しかいません。しかし、人数が少ない中でも、自分が目指す柔道を見つかることが結果にも、自分を向上させることにもつながるので、ぜひ柔道を続けていってください。



戸出 中学校

高田 和輝

僕が先輩に託す言葉は、「一生懸命に練習しましょう」ということです。なぜなら、3年生が引退したあとの練習が気の抜けたものになっているからです。みんなで声を掛け合い、協力しあって日々の練習に励んでください。



国吉 中学校

杉田 和己

後輩の皆さん、これから切磋琢磨して頑張ってほしい。僕が部活をしていたときに思ったこと、声がかさったことがよくあったので、いつも大きな声を出して練習してください。試合では一勝でも多く勝て!



福岡 中学校

大村 颯太郎

柔道部は今まで少人数でしたが、今年から部員が増え、にぎやかになりました。柔道の練習は辛い時もあると思いますが、仲間を大切に、励みあって乗り越えてください。また、試合では十分に力を出し切ってください。



中田 中学校

茶木 康至

毎日の部活動は、具体的な目標を積み重ねることが大切だと思います。導いてくださる先生方、支えてくれる家族、そして厳しくつらい練習を一緒に乗り越える仲間。努力は裏切らないと信じて頑張ってほしい。応援しています。

ス+ッ+フ 活躍する選手たち



18年5/31~7/26 毎週水曜日高岡地区少年強化練習



18年7/2 県民体育大会一般の部13連覇



18年7/1 県民体育大会児童の部Bチーム



県民体育大会児童の部Aチーム

A・B共に2年連続優勝

極めて、やる気を上手に引き出そうとする指導法など指導者として重要なことだと再確認しました。田辺先生と乱取りをした子供たちにとって貴重な経験を得ることができ、柔道に対する意欲も一層強くなったように見受けられました。本当にありがとうございました。

編集後記

柔道を中学校から始め、高校、大学、そして社会人になってからも福田先生には大変お世話になりました。柔道をこよなく愛し、そして誰とも隔たりなく接する先生のお姿に憧れを感じていました。先生のお宅に招かれ何度もお酒を頂いた事も忘れられません。謹んでご冥福をお祈りいたします。

広報部理事 中川 佳 規



18年8月2日高岡武道館にて
日本女子柔道部監督 田辺陽子先生による柔道教室

高岡市少年柔道教室

少年強化理事 小松 正 徳

平成十八年八月二日に高岡市柔道連盟が、県営高岡武道館にてオリンピックク二大会連続で銀メダルを獲得された日本大学女子柔道部監督の田辺陽子先生を招聘し、柔道教室を開きました。田辺先生は、柔道場に入る前の心構えとして、「その日の練習の目標をしっかり持って真剣に取り組むとともに、相手の体格に応じた技の大切方など考えて練習することなどが大切である」と話され、練習法や技の説明に入りました。例えば、打ち込みの場合、受けの人もしっかりと組み合うとか、田辺先生の得意技である大外刈りでは、斜め四十五度に大きなモーションで入り、釣手は自分の同側の耳へ、引き手は手首を返して肘を曲げて張りながら引く。大内刈りは、足の親指で大きな半円を畳に描くようななどの指導をされました。最初は、体がうまく動かず要領がつかめない子供達でしたが、何回も練習していくうちにうまくできた時の子供のうれしそうな姿が印象的でした。乱取りでは、子供たちの攻防を見ながら積極的に技をかけている子供を褒めて、やる気を上手に引き出そうとする指導法など指導者として重要なことだと再確認しました。田辺先生と乱取りをした子供たちにとって貴重な経験を得ることができ、柔道に対する意欲も一層強くなったように見受けられました。本当にありがとうございました。